

令和4年度

児童相談所受付相談状況

高知県

全体の状況

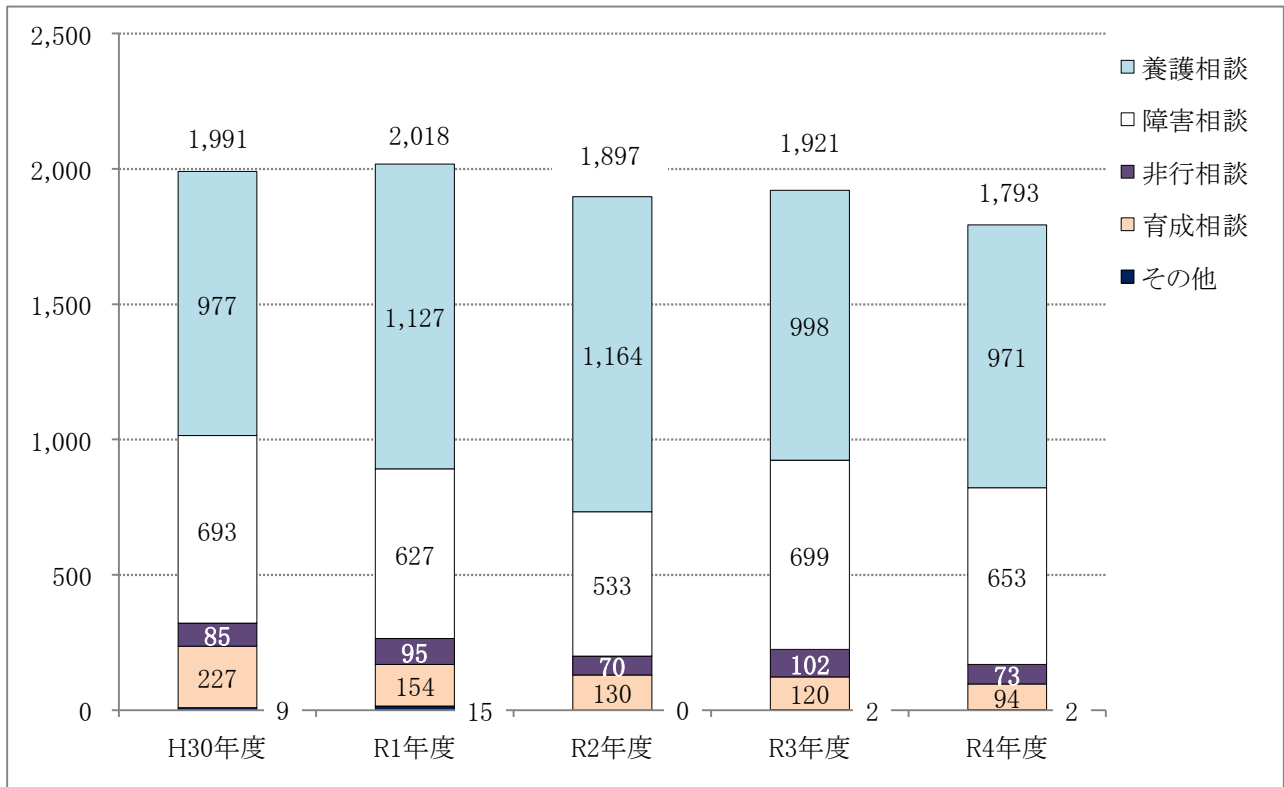
○ 相談種類別受付件数の年次推移

相談種別		H30	R1	R2	R3	R4	
高知県全体	養 護 相 談	977	1,127	1,164	998	971	
	うち虐待通告・相談件数	595	697	799	655	726	
	障 害 相 談	肢 体 不 自 由	2	4	3	4	3
		視 聴 覚 障 害	0	0	0	0	0
		言 語 発 達 障 害 等	51	19	24	28	22
		重 症 心 身 障 害	30	8	6	24	20
		知 的 障 害	557	553	469	594	566
		発 達 障 害	53	43	31	49	42
	小 計	693	627	533	699	653	
	非 行 相 談	ぐ 犯 行 為 等	46	49	36	56	37
		触 法 行 為 等	39	46	34	46	36
		小 計	85	95	70	102	73
	育 成 相 談	性 格 行 動	206	142	123	110	80
		不 登 校	11	10	4	7	6
		適 性	7	1	2	1	2
		育 児 ・ し つ け	3	1	1	2	6
		小 計	227	154	130	120	94
	保 健 ・ そ の 他	9	15	0	2	2	
	計	1,991	2,018	1,897	1,921	1,793	

○ 相談種類別受付件数の年次推移(相談所別)

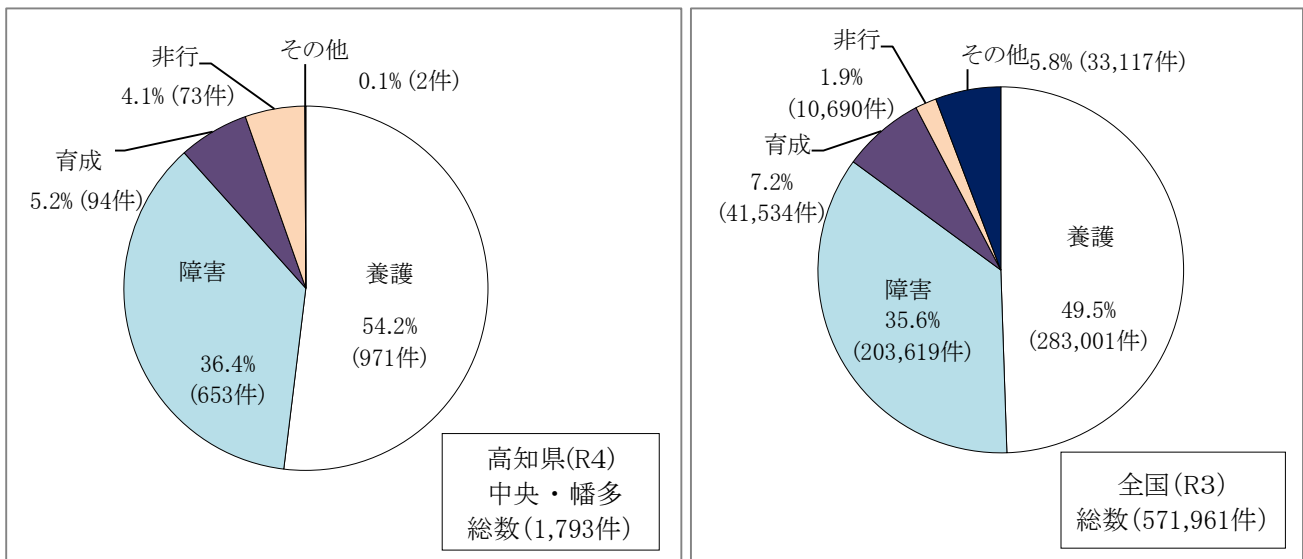
		相談種別	H30	R1	R2	R3	R4
中央児童相談所	養護相談	878	1,005	1,041	899	875	
		うち虐待通告・相談件数	544	614	722	591	649
	障害相談	肢体不自由		4	3	4	3
		視聴覚障害					
		言語発達障害等		3	3	4	
		重症心身障害		6	5	24	20
		知的障害	1	487	404	523	520
		発達障害		20	8	26	14
	小計	1	520	423	581	557	
	非行相談	ぐ犯行為等	40	45	30	48	29
		触法行為等	37	45	33	45	36
		小計	77	90	63	93	65
	育成相談	性格行動	58	58	57	43	40
		不登校性	2	6		5	3
		適児・しつけ		1	2	1	
小計		60	66	59	50	44	
保健・その他		6		2	2		
計		1,016	1,687	1,586	1,625	1,543	
(中央児童相談所障害児部門)	養護相談	1					
	うち虐待通告・相談件数						
	障害相談	肢体不自由	2				
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	37				
		重症心身障害	28				
		知的障害	485				
		発達障害	10				
	小計	562	0	0	0	0	
	非行相談	ぐ犯行為等	1				
		触法行為等					
	小計	1	0	0	0	0	
	育成相談	性格行動	75				
		不登校性	2				
		適児・しつけ	7				
小計		3					
小計	87	0	0	0	0		
保健・その他							
計	651	0	0	0	0		
幡多児童相談所	養護相談	98	122	123	99	96	
	うち虐待通告・相談件数	51	83	77	64	77	
	障害相談	肢体不自由					
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	14	16	21	24	22
		重症心身障害	2	2	1		
		知的障害	71	66	65	71	46
		発達障害	43	23	23	23	28
	小計	130	107	110	118	96	
	非行相談	ぐ犯行為等	5	4	6	8	8
		触法行為等	2	1	1	1	
	小計	7	5	7	9	8	
	育成相談	性格行動	73	84	66	67	40
		不登校性	7	4	4	2	3
		適児・しつけ			1	1	5
小計		80	88	71	70	50	
保健・その他	9	9					
計	324	331	311	296	250		

○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、平成30年度までは、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当していたため、同センター取扱い分を加えて比較している。

○相談種類別構成比の全国(R3)との比較



*出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

高知県 (件数)

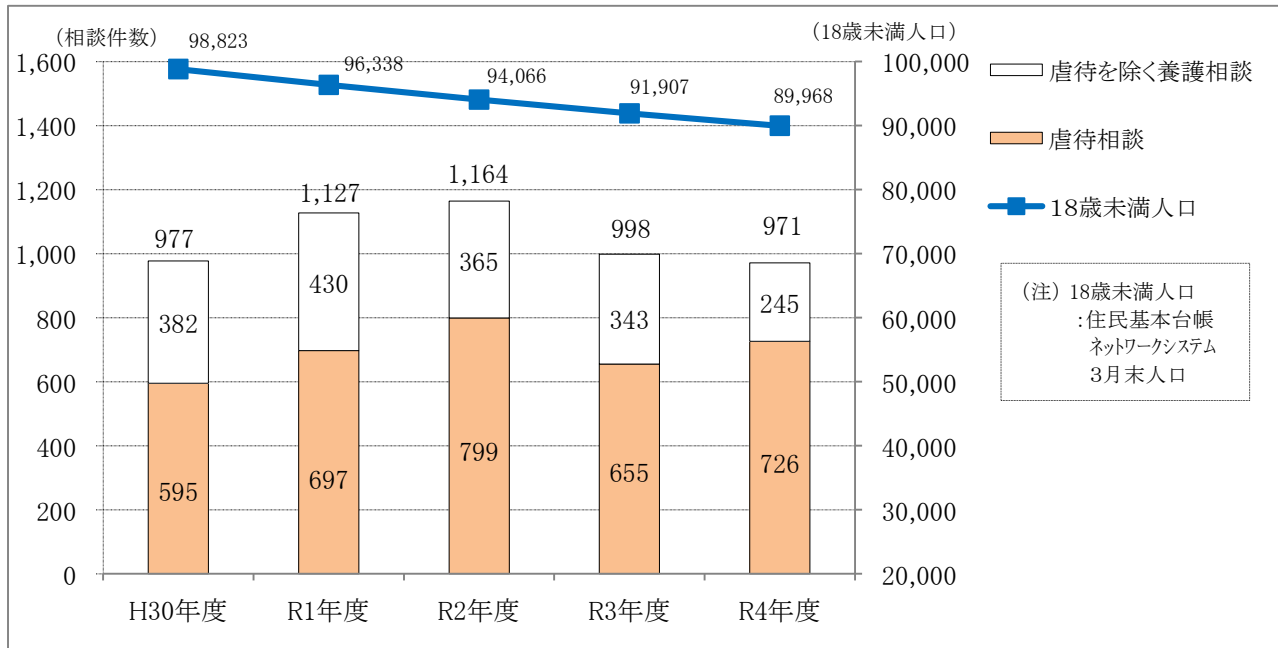
	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
養護	977	1,127	1,164	998	971
障害	693	627	533	699	653
非行	85	95	70	102	73
育成	227	154	130	120	94
その他	9	15	0	2	2
計	1,991	2,018	1,897	1,921	1,793

全国 (件数)

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
養護	228,719	267,955	280,985	283,001
障害	188,702	189,714	162,351	203,619
非行	13,333	12,410	38,908	10,690
育成	43,594	42,441	10,615	41,534
その他	30,508	32,178	34,413	33,117
計	504,856	544,698	527,272	571,961

養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



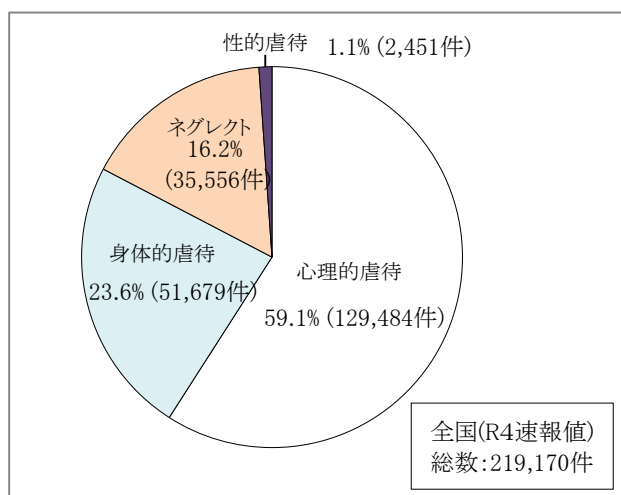
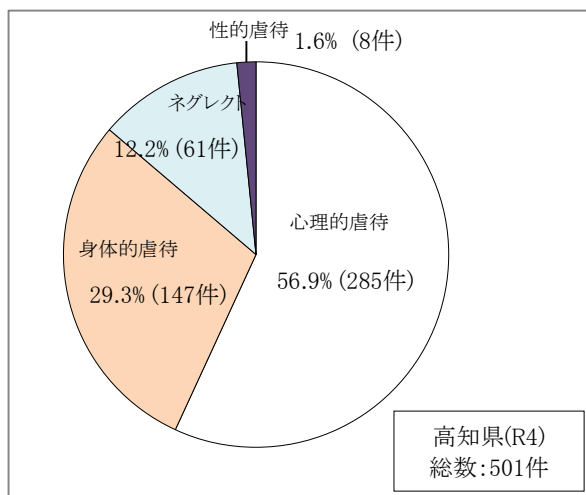
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

2 児童虐待(令和4年度)

(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数:相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
受付件数	595	697	799	655	726
対応件数	420	458	583	452	501

(2) 虐待の種類の構成割合



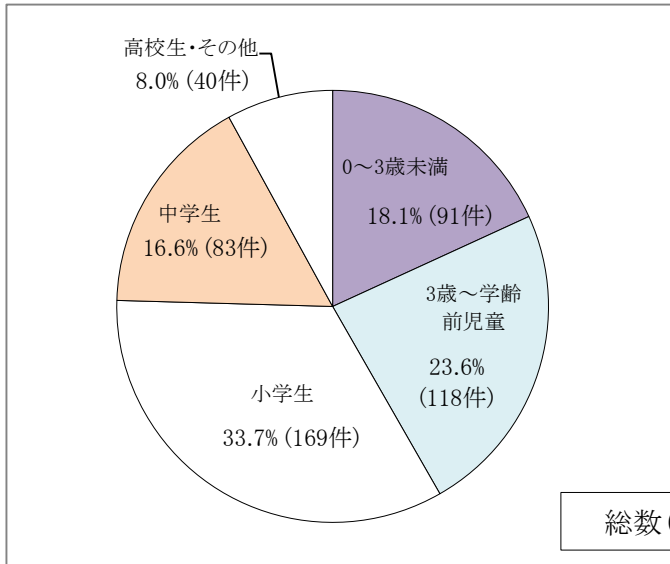
高知県(件数)

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
心理的虐待	273	241	355	266	285
ネグレクト	78	125	88	68	61
身体的虐待	66	87	133	111	147
性的虐待	3	5	7	7	8
計	420	458	583	452	501

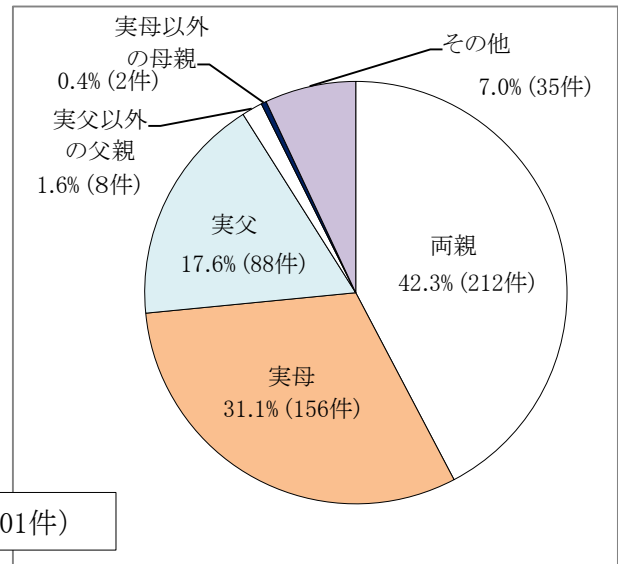
全国(件数)

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
心理的虐待	88,391	109,118	121,334	124,724	129,484
ネグレクト	29,479	33,345	31,430	31,448	35,556
身体的虐待	40,238	49,240	50,035	49,241	51,679
性的虐待	1,730	2,077	2,245	2,247	2,451
計	159,838	193,780	205,044	207,660	219,170

(3) 被虐待児の年齢別構成割合



(4) 主たる虐待者



(注) 主たる虐待者の『その他』は、実母と内縁男性及びパートナー15件、祖母6件、実母と祖父4件、実母と祖母3件、内縁男性、おば各2件、実父とおば、実母か内縁男性、里親各1件

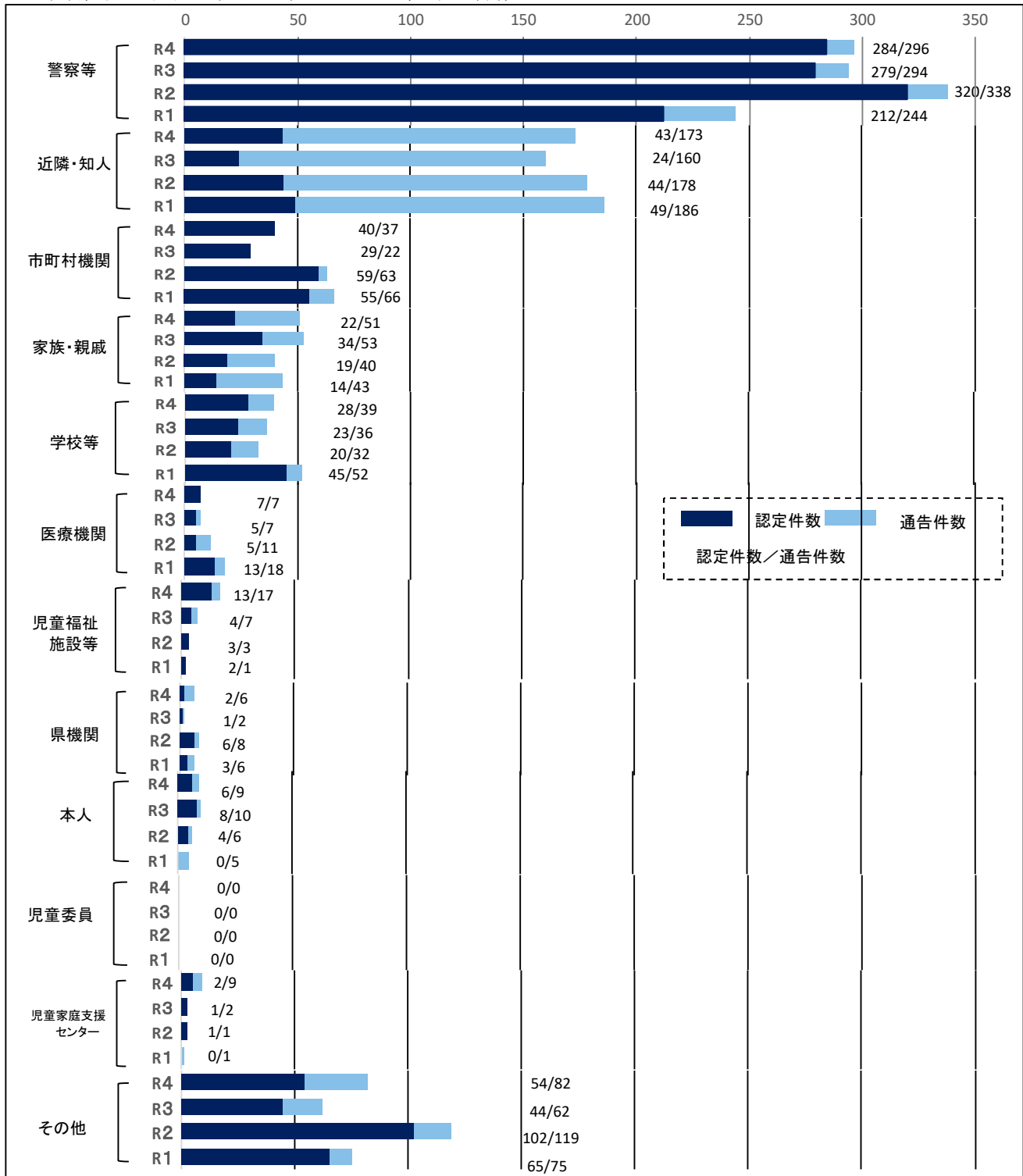
被虐待児の年齢別(件数)

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
0～3歳未満	114	92	123	85	91
3歳～学齢前児童	79	103	124	98	118
小学生	132	155	215	159	169
中学生	63	71	81	74	83
高校生以上	32	37	40	36	40
計	420	458	583	452	501

主たる虐待者(件数)

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
両親	135	176	245	218	212
実父	130	103	105	91	88
実母	99	125	162	104	156
実父以外の父親	16	17	26	21	8
実母以外の母親		2		4	2
その他	40	35	45	14	35
計	420	458	583	452	501

(5) 虐待通告及び認定・対応ケースの経路別件数

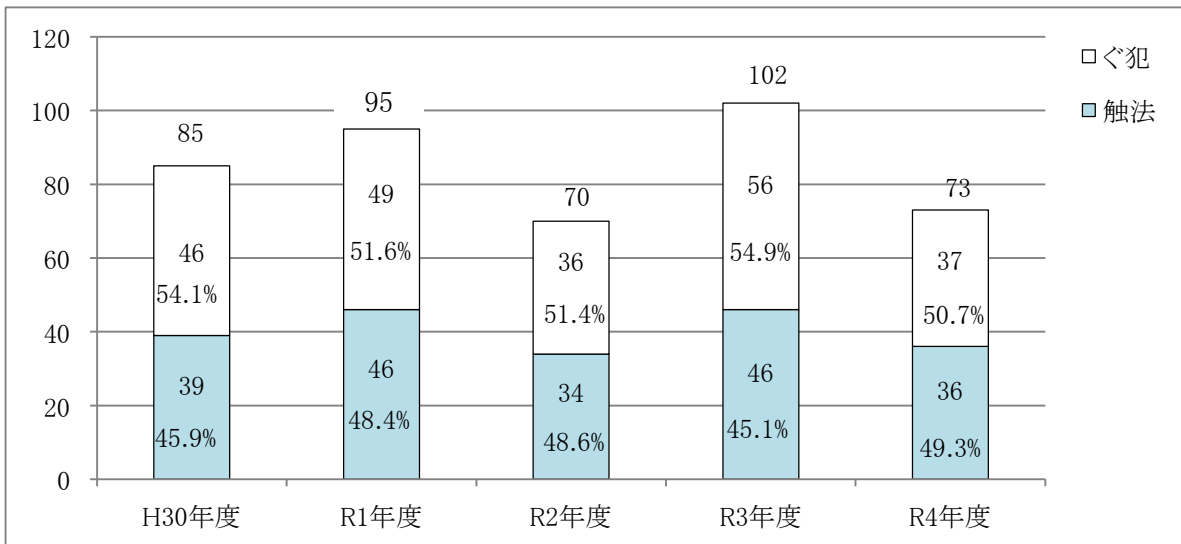


	警察等	近隣・知人	市町村機関	家族・親戚	学校等	医療機関	児童福祉施設等	県機関	本人	児童委員	児童家庭支援センター	その他	合計	
R4年度	認定	284	43	40	22	28	7	13	2	6	0	2	54	501
	通告	296	173	37	51	39	7	17	6	9	0	9	82	726
R3年度	認定	279	24	29	34	23	5	4	1	8	0	1	44	452
	通告	294	160	22	53	36	7	7	2	10	0	2	62	655
R2年度	認定	320	44	59	19	20	5	3	6	4	0	1	102	583
	通告	338	178	63	40	32	11	3	8	6	0	1	119	799
R1年度	認定	212	49	55	14	45	13	2	3	0	0	0	65	458
	通告	244	186	66	43	52	18	1	6	5	0	1	75	697

※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった726件及び児童虐待として対応した501件 について分析したもの。
 また、虐待として認定されたもののうち、7件が一時保護中のため前年度から持ち越された。
 ※『その他』は他県児相からの移管やきょうだいケース等で虐待認定したもの。

3 非行相談

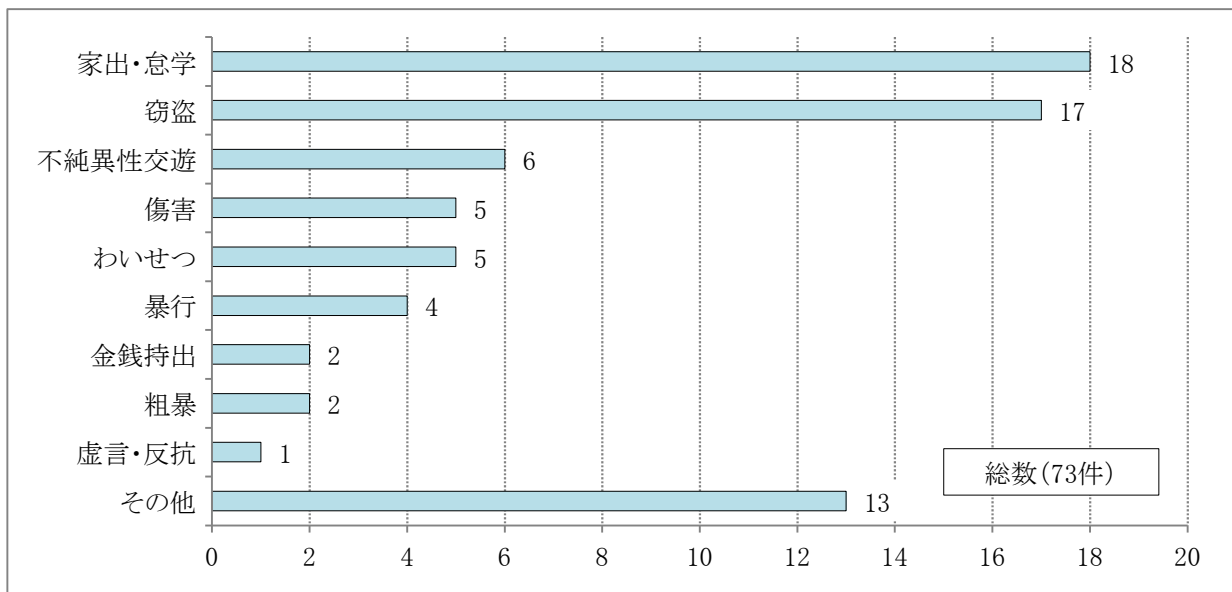
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(令和4年度)



(注) 『その他』の内容：情報提供5件、器物破損2件、威力業務妨害、不法侵入、建造物侵入、虚偽の通報、窃盗教唆、ポルノ画像強要各1件

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
窃盗	38	24	19	17
家出・怠学	9	10	18	18
金銭持出	8	2	7	2
わいせつ	11	15	17	5
暴行	6	3	11	4
不純異性交遊	5	1	4	6
粗暴	3	0	3	2
傷害	3	2	0	5
放火・ろう火	0	1	4	0
虚言・反抗	1	1	1	1
薬物乱用・飲酒・喫煙	0	0	0	0
施設無断外出	1	1	5	0
恐喝・強盗	0	1	1	0
その他	10	9	12	13
合計	95	70	102	73

一時保護(委託)の状況

	H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			R4年度		
	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計
虐待	87 (54)	63 (29)	150 (83)	80 (54)	69 (25)	149 (79)	123 (87)	69 (38)	192 (125)	70 (55)	50 (27)	120 (82)	98 (64)	53 (19)	151 (83)
その他	110 (26)	83 (10)	193 (36)	109 (28)	118 (6)	227 (34)	68 21	94 19	162 40	126 (44)	119 (5)	245 (49)	88 (30)	94 (4)	182 (34)
計	197 (80)	146 (39)	343 (119)	189 (82)	187 (31)	376 (113)	191 (108)	163 (57)	354 (165)	196 (99)	169 (32)	365 (131)	186 (94)	147 (23)	333 (117)

※年度内に一時保護を開始した件数

※()は、職権保護数で内数